

## 目 次

1. はじめに	1
1.1 本資料の背景	1
1.2 本資料の構成	2
2. 実態データの収集方法及び分析対象建築物の概要	3
2.1 実態データの収集方法	3
2.2 地域別、評価手法別の物件数	4
2.3 建物用途別、地域別の物件数（モデル建物法、新築）	6
3. 建築物全体のエネルギー消費性能の分析	9
3.1 標準入力法による BEI の分布（地域別）	9
3.2 モデル建物法による BEIm の分布（地域別）	14
3.3 モデル建物法による BEIm の分布（地域別、事務所用途）	19
3.4 モデル建物法による BEIm の分布（建物用途別、6 地域）	24
4. 外皮に関する分析	33
4.1 外皮面積	33
4.2 外壁等の断熱性能	49
4.3 開口部の性能	64
5. 空気調和設備に関する分析	79
5.1 冷熱源の性能	79
5.2 温熱源の性能	111
5.3 空調制御等の採用率	146
6. 機械換気設備に関する分析	162
6.1 機械室の機械換気設備の性能	162
6.2 便所の機械換気設備の性能	166
6.3 駐車場の機械換気設備の性能	169
6.4 厨房の機械換気設備の性能	172
7. 照明設備に関する分析	175
8. 給湯設備に関する分析	182
8.1 洗面・手洗い用途の給湯設備の性能	182
8.2 浴室用途の給湯設備の性能	198
8.3 厨房用途の給湯設備の性能	213
9. 昇降機に関する分析	228
10. 太陽光発電設備に関する分析	231
11. コージェネレーション設備に関する分析	234
12. まとめ	237